

第 48 回薬剤耐性菌研究会

会 期：2019 年 11 月 15 日（金）12:55 ～
11 月 16 日（土）12:05

会 場：黒部市宇奈月国際会館（セレネ）会議室 A(3F)
〒938-0282 富山県黒部市宇奈月温泉 6 番地 3
Tel 0765-62-2000 Fax 0765-62-2020
<https://www.unazuki-selene.com/>

会 長：菅井 基行（国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター）
開催当番：綿引 正則（富山県衛生研究所）

研究会事務局

連絡先：群馬大学大学院医学系研究科・薬剤耐性菌実験施設

代 表：富田 治芳

TEL: 027-220-7992 FAX: 027-220-7996

会場までのアクセス

車で: 東京方面／関越自動車道「練馬 I.C」→ 北陸自動車道「黒部 I.C」[約 4 時間 30 分]

大阪方面 / 「豊中 I.C」→ 北陸自動車道「黒部 I.C」[約 4 時間 30 分]

名古屋方面 / 「一宮 I.C」→ 北陸自動車道「黒部 I.C」[約 3 時間 30 分]

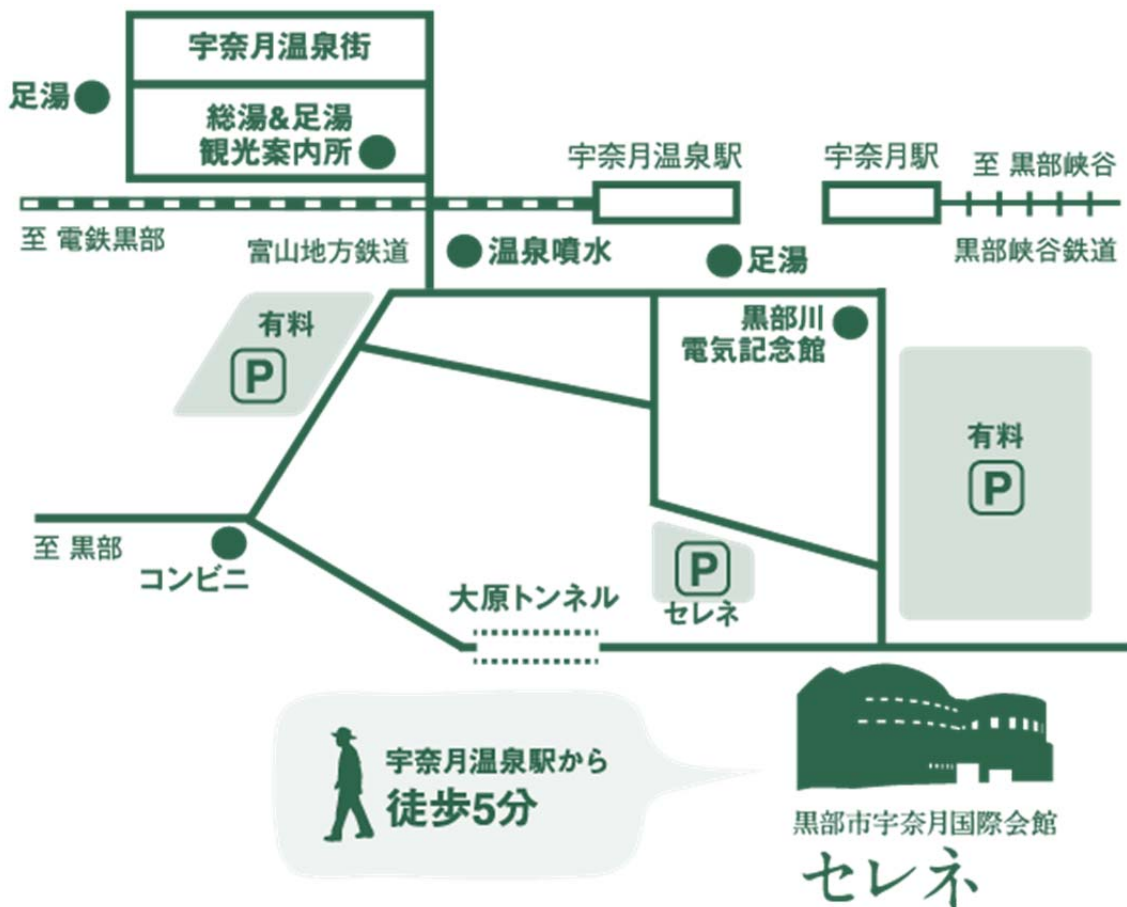
電車で: 東京方面／北陸新幹線「黒部宇奈月温泉」→ 富山地方鉄道「新黒部駅」→ 「宇奈月温泉駅」
[約 2 時間 45 分]

大阪方面／サンダーバード 金沢行→ 北陸新幹線「黒部宇奈月温泉」→ 富山地方鉄道
[約 3 時間 40 分]

名古屋方面／高山本線 富山方面行 → 富山地方鉄道 [約 3 時間 30 分]

飛行機で: 東京から／羽田空港→ 富山きときと空港→ バス「富山駅」→ 富山地方鉄道
[約 2 時間 25 分]

札幌から／新千歳空港 → 富山きときと空港 → バス「富山駅」→ 富山地方鉄道
[約 3 時間]



・研究会会場のセレネから宿の延對寺莊まではおよそ 800m です。

・初日終了時、および 2 日目開始時は、セレネと宿の間をバスが運行します。ご利用ください。

ご 案 内

1. 参加受付

受付は11月15日（金）12:00より3F会議室A付近にて行います。

2. 宿泊／参加費

18,000円（内訳：年会費1,000円、研究会参加費6,000円、宿泊費11,000円）
（個室希望の方は別途10,000円）

3. 口演発表

・一般演題の口演時間は12分程度とし、質疑応答を含めて15分です。

・1演題あたりスライド12枚程度でお願いします。

・発表はマイクロソフトパワーポイントでお願いします。

・液晶プロジェクターの入力端子はDsub-15ピンのみです。必要な場合はアダプターをご持参下さい。USBメモリ等で発表データをお持ちの方は、発表用PC（windows10, PowerPoint2013）を使用して頂くこともできます。Macintoshをご利用の方はご自身のPC本体をご持参下さい。

・発表に際し、COIやスポンサーシップ等につきましては、先生方ご自身で対応願います。

第48回薬剤耐性菌研究会プログラム

2019年11月15日(金)

12:55~17:15

12:55~13:00

開会の挨拶

菅井 基行(国立感染症研究所)

一般演題：発表12分、討論3分

13:00~14:00

座長：橋本 佑輔(群馬大学)

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌

遺伝子系統解析による富山県で分離されたカルバペネマーゼ遺伝子を有しないカルバペネム耐性 *Klebsiella aerogenes* の特徴

○綿引正則¹，内田薫¹，松井真理²，鈴木里和²，中村雅彦³，彼谷裕康³，磯部順子¹，大石和徳¹

(¹富山県衛生研究所，²国立感染症研究所，³富山県立中央病院)

富山県で分離されたカルバペネム耐性腸内細菌科細菌(GRE)の特徴

○内田薫，綿引正則，金谷潤一，加藤智子，木全恵子，磯部順子，大石和徳
(富山県衛生研究所細菌部)

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌病原体サーベイランスー2018年

○松井真理¹，鈴木里和¹，菅井基行¹

(¹国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター，全国地方衛生研究所)

**感染症発生動向調査病原体サーベイランスにおける海外型カルバペネマーゼ遺伝子
検出株の報告状況**

○鈴木里和¹，松井真理¹，菅井基行¹

(¹国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター，全国地方衛生研究所)

14:00~15:00

座長：関 みつ子(明海大学)

NDM 検出歴のない医療機関の病棟シンクから検出されたNDM-1, OXA-820カルバペネマーゼ産生 *Acinetobacter pittii* ST220 の全ゲノム解析

○林航¹，田中隼斗²，新井恵理子³，名取達矢³，堀内一樹³，松本剛³，飯村将樹²，曾我英司²，長野由紀子⁴，長野則之^{1,2}

(¹信州大学大学院 総合医理工学研究科, ²信州大学大学院 医学系研究科,
³信州大学医学部附属病院 臨床検査部, ⁴名古屋大学大学院 医学系研究科)

海外渡航歴のない患者から検出されたNDM-5メタロ-β-ラクタマーゼを産生する広範囲 抗菌薬耐性 *Escherichia coli* ST746 の解析

○田中隼斗¹, 新井恵理子², 鈴木眞², 林航³, 飯村将樹¹, 曾我英司¹,
長野由紀子⁴, 長野則之^{1,3}

(¹信州大学大学院 医学系研究科, ²信州大学医学部附属病院 臨床検査部,
³信州大学大学院 総合医理工学研究科, ⁴名古屋大学大学院 医学系研究科)

ミャンマーの医療施設で分離されたカルバペネム耐性 *Enterobacter cloacae* complex

○大城聡¹, 多田達哉¹, 内田大貴¹, 菱沼朋美¹, San Mya², Htay Htay Tin²,
切替照雄¹

(¹順天堂大学医学部微生物学講座, ²National Health Laboratory, Yangon,
Myammar)

妊婦におけるβ-ラクタム系低感受性B群レンサ球菌の発見

○諸井博明^{1,2,3}, 木村幸司², 小谷友美³, 津田弘之³, 坂野弘嗣², 金万春²,
和知野純一², 山田景子², 三井崇⁴, 山下守⁴, 吉川史隆³, 荒川宣親²

(¹半田市立半田病院, ²名古屋大学大学院医学系研究科 分子病原細菌学,
³名古屋大学大学院医学系研究科 産婦人科学, ⁴医療法人 葵鐘会)

～☘～☘～**coffee break** 15:00～15:15 ～☘～☘～

15:15～ 16:15

座長：和知野 純一（名古屋大学）

プラスミドと耐性菌の疫学

プラスミド系統ネットワーク解析の原理と特徴

○鈴木匡弘¹, 土井洋平¹, 荒川宣親²

(¹藤田医科大学医学部微生物学講座, ²名古屋大学大学院医学系研究科分子病原
細菌学)

Super 2DCM の開発

○藤本修平¹, 村上啓雄², 荒川宣親³, 柴山恵吾⁴

(¹東海大学, ²岐阜大学, ³名古屋大学, ⁴国立感染症研究所)

JANIS・細菌検査データを活用した研究の事例と展望

○矢原耕史¹，筒井敦子¹，Adam Clark²，藤本健一³，川上小夜子¹，千酌浩樹⁴，井口光孝⁵，八木哲也⁵，Meghan A. Baker⁶，Thomas O' Brien^{2,7}，John Stelling^{2,7}，宮本直樹⁸，堀田吏乃⁸，矢野知美⁸，田代尚崇⁸，森井大一¹⁰，八板謙一郎^{8,9}，渡邊浩^{8,9}，柴山恵吾¹⁰

(¹感染研・薬剤耐性研究センター，²WHO Collaborating Centre for Surveillance of Antimicrobial Resistance, Brigham and Women's Hospital, Boston, USA. ³帝京大・公衆衛生，⁴鳥取大病院・感染制御部，⁵名古屋大・臨床感染統御学，⁶Harvard Medical School and Harvard Pilgrim Health. Care Institute, Boston, USA. ⁷Harvard Medical School, Boston, USA. ⁸久留米大学病院・検査室，⁹久留米大学病院・感染制御部，¹⁰感染研・細菌第二部)

WHO-GLASS と JANIS の集計方式の相違に関する検討

○梶原俊毅¹，矢原耕史¹，平林亜希¹，安齋栄子¹，若井知世¹，柴山恵吾²，菅井基行¹

(¹国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター，²細菌第二部)

～☘～☘～ **coffee break** 16:15～16:30～☘～☘～

16:30～17:15

座長：綿引 正則（富山県衛生研究所）

特別講演

地方衛生研究所で行ってきた

薬剤耐性菌に関する研究 ～行政的取り組み

河原隆二

(大阪健康安全基盤研究所 微生物部・細菌課)

一般演題：発表 12 分、討論 3 分

9:00~10:00

座長：鈴木 匡弘(藤田医科大学)

検出方法

二本鎖 DNA 修飾色素およびナノポア DNA シークエンサーを用いた薬剤耐性菌同定技術

○大野歩¹，梅澤和夫²，クリュコフ キリル¹，中川草¹，浅井さとみ³，宮地勇人³，今西規¹

(¹東海大学医学部基礎医学系 分子生命科学，²東海大学 医学部 外科学系 救急救命医学，³東海大学医学部基盤診療学系 臨床検査学)

A novel LAMP method detecting β -lactamase genes

○Mitsuko Seki^{1,2}，Chika Takano²，Eun Jin Kim^{1,3,4}，Yeong Bae Yoon^{1,3,4}，Dong Hyun Lee^{1,3,4}，Jiwon Lee^{1,3,4}，Yeong Jun Baek^{1,3,4}，Satoshi Hayakawa²，Tomonori Hoshino¹

(¹ Division of Pediatric Dentistry, Department of Human Development and Fostering, Meikai University School of Dentistry, Sakado, Japan, ² Division of Microbiology, Department of Pathology and Microbiology, Nihon University School of Medicine, Tokyo, Japan, ³ Department of Pharmacy, College of Pharmacy, Hanyang University, Ansan, South Korea, ⁴ Institute of Pharmacological Research, Hanyang University, Ansan, South Korea)

コリスチン耐性

流入下水由来 *Escherichia coli* における *mcr-1* 遺伝子の出現と家禽病原性大腸菌 (APEC) 関連病原遺伝子の共保有

○林航¹，田中隼斗²，飯村将樹²，曾我英司²，久保亮一³，川村久美子⁴，長野由紀子⁴，荒川宜親⁴，長野則之^{1,2}

(¹信州大学大学院 総合医理工学研究科，²信州大学大学院 医学系研究科，³関東化学株式会社 試薬技術部，⁴名古屋大学大学院 医学系研究科)

コリスチン耐性の付与が及ぼす大腸菌の病原性変化

○佐藤豊孝¹，山本聡¹，小笠原徳子¹，白井優²，鈴木仁人³，林航⁴，長野則之⁴，土井洋平^{5,6}，田村豊⁷，高橋聡^{8,9}，横田伸一¹

(¹札幌医科大学・医学部・微生物学，²酪農学園大学・獣医学群・食品衛生学，

³国立感染症研究所・薬剤耐性研究センター, ⁴信州大学大学・院総合医理工学研究科・医学系専攻, ⁵ピッツバーグ大学医学部・感染症内科, ⁶藤田医科大学・微生物学・感染症科, ⁷酪農学園大学・動物薬教育研究センター, ⁸札幌医科大学附属病院・検査部, ⁹札幌医科大学・医学部・感染制御・臨床検査医学)

10:00~11:00

座長: 林 航(信州大学)

薬剤耐性と創薬

既知の耐性機構を回避する新規アミノ配糖体系抗菌薬の探索と創製

○鈴木仁人¹, 横山武司², 五十嵐雅之³, 高橋良昭⁴

(¹国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター, ²東北大学大学院生命科学研究科 応用生命分子解析分野, ³公益財団法人微生物化学研究会 微生物化学研究所 第2生物活性研究部, ⁴公益財団法人微生物化学研究会 微生物化学研究所 創薬化学研究部)

薬剤耐性遺伝子は潜在性ファージを介して拡散する

○和知野純一, 金万春, 木村幸司, 荒川宜親

(名古屋大学大学院医学系研究科・分子病原細菌学)

Mycoplasma pneumoniae のクラリスロマイシン耐性遺伝子の検出状況

○小川美保, 坂田竜二, 市村禎宏, 古畑健司

(株式会社ビー・エム・エル 細菌検査課)

耐性結核患者生体内における結核菌の耐性 population 変動の観察

○吉田志緒美¹, 岩本朋忠², 有川健太郎², 関塚剛史³, 黒田誠³, 御手洗聡⁴, 露口一成¹, 井上義一¹, 鈴木克洋¹

(¹NHO 近畿中央呼吸器センター, ²神戸市環境保健研究所, ³国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター, ⁴公益財団法人結核予防会 結核研究所)

~☘~☘~ **coffee break** 11:00~11:15~☘~☘~

11:15~12:00

座長: 多田 達哉(順天堂大学)

AmpC 変異によるセフィデロコール低感受性化機構の検討

河合聡人¹, Ryan K. Shields², Christi L. McElheny², ○土井洋平^{1,2}

(¹藤田医科大学医学部微生物学講座, ²ピッツバーグ大学医学部感染症内科)

ヒト臨床由来 *Enterococcus faecalis* ST634 に認められたリネゾリド耐性遺伝子 *optrA* 保有新奇プラスミド

○飯村将樹¹，林航²，新井恵理子³，名取達矢³，堀内一樹³，松本剛³，田中隼斗¹，曾我英司¹，長野由紀子⁴，荒川宜親⁴，長野則之^{1,2}

(¹信州大学大学院 医学系研究科，²信州大学大学院 総合医理工学研究科，
³信州大学医学部附属病院 臨床検査部，⁴名古屋大学大学院 医学系研究科)

国内医療機関より分離された VanA 型と VanM 型の 2 つのバンコマイシン耐性遺伝子を保有する腸球菌の新規線状プラスミドに関する分子生物学的研究

○橋本佑輔¹，野村隆浩¹，平川秀忠¹，玉井清子²，谷本弘一³，富田治芳^{1,3}

(¹群馬大 院医 細菌学、²株式会社ミロクメディカルラボラトリー、³群馬大 院医 薬剤耐性菌実験施設)

12:00～12:05

閉会の挨拶